



健全な法治国家のために  
声をあげる市民の会

社団法人新聞協会御中

2012年1月18日

健全な法治国家のために声をあげる市民の会

健全な法治国家のために声をあげる市民の会は、1月13日付毎日新聞に、事実と異なる記事が掲載されましたことに対しまして、抗議と謝罪記事の掲載を申し入れておりますが、誠意のある対応を頂いていないことに際し、新聞協会にお知らせ申し上げます。

お知らせの経緯

1月12日に当会は、被疑者不詳での偽計業務妨害並びに田代検事に対する虚偽有印公文書作成及び行使を旨とする告発状を最高検察庁に提出し、同日午後、司法記者クラブで会見をいたしました。

この告発状におきまして、田代検事が公判においておこなった「以前の拘留中の取調べのやり取りと記憶が混同した」という説明があり得ないことである根拠として、「実録 政治vs.特捜検察 (文春新書) 塩野谷晶著」113頁で石川氏が述べている、拘留中の取調べ内容において、

- 1) 田代検事ではなく副部長との取調べ
- 2) 虚偽報告書では「小沢氏への報告」に関する取調べとされてるが、著書で言っているのは、水谷からの5000万円裏献金に関する取調べ
- 3) 虚偽報告書では、「11万人以上の有権者に選ばれた国会議員が、やくざの手下が親分を守るよううそをついてはいけない」という検事の言葉が効いて「堪えきれなくなって、小沢に報告し、了承を得た」と供述したことになるが、塩野谷氏とのインタビューで石川氏が明確に述べているのは、検事の言葉が「なんで信じてくれないとショックを受けた」「土下座して『5000万円』は断じてもらっていません。もう勘弁してくださいと言った」というもので、取調べ検事に対してとった態度は全く逆である。

この3点において、単に数ヶ月前の出来事であるだけでなく、他人の行った、且つ、別の事案に関する内容で、結論も全く逆である取調べとの「記憶の混同」がありえないことを述べておりますが、翌日、毎日新聞社では、「陸山会事件：担当検事『報告書』問題 該当『やり取り』獄中日記に」という見出しで、「石川議員は出版物の中で勾留中にはほぼ同様のやり取りを田代検事とした記載をしている。」と、実際に、報告書と同様の内容の取り調べが行われ、当会の告発状の内容が信憑性に欠けるものであるかのような報道をいたしました。



健全な法治国家のために  
声をあげる市民の会

このため、当会では、添付書類の通り、抗議をいたしましたところ、「別の書籍資料に基づいて書いた記事であるため、誤報に当たらない」との回答を頂きました。

しかしながら、毎日新聞が資料としてあげられた当該書籍「誰が日本を支配するのか!? 検察と正義」(マガジンハウス刊)には、報告書と同様の内容の取り調べが行われたという記載はなく、「十勝の有権者は小沢一郎ではなく、石川知裕に期待して投票したと言われるのがつらい」と書いてあるのみです。前後の文脈から判断しても、これが「田代検事との会話である」とする根拠はなく、「小沢氏への報告に関して」「金銭の授受を認めた」とは到底言い難いものであり、むしろ、「実録 政治vs. 特捜検察 (文春新書) 塩野谷晶著」と同じ内容を描写していることは明らかです。従いまして、報告書と「ほぼ同様のやりとり」とは、到底言えるものではありません。

したがって、再度、当方から「具体的に該当書籍のどの記述が記事の根拠であるのか」という質問をしたところ、二度にわたって、「該当書籍に書いてある」というだけの返事しか頂けません。

該当書籍に書いてある石川議員の取調において、毎日新聞社が書いた記事の裏付けとなるような記述は存在しない以上、問題の記事は誤報もしくは恣意による捏造であることは明らかであり、これは、新聞倫理綱領に著しく反するものであるものと考えられますので、新聞協会に通報させていただきます。

代表：八木啓代 (やぎ・のぶよ)

ホームページ：<http://shiminnokai.net/>

#### <添付書類>

- ・ 告発状及び添付資料
- ・ 1月13日付け毎日新聞宛抗議文
- ・ 同日付毎日新聞社からの返信(電子メール)
- ・ 1月14日付け毎日新聞宛抗議文
- ・ 1月16日付け毎日新聞宛質問状
- ・ 1月16日付け毎日新聞からの回答書

以上

《本発表に関するお問い合わせ》

健全な法治国家のために声をあげる市民の会 広報担当：加藤、京谷

E-mail：[shiminnokai21@gmail.com](mailto:shiminnokai21@gmail.com) FAX：03-4333-0442

URL：<http://shiminnokai.net/>